

茨城県更生保護女性連盟のご紹介

～平成26年度 子どもと家族・若者応援団表彰
(内閣府特命担当大臣表彰) 受賞～

茨城県更生保護女性連盟の井坂たけさん(会長)、鈴木みち子さん(事務局長)からお話を伺いました。



◆活動内容を教えてください。

昭和33年に県連盟を結成、犯罪や非行の起こらない地域づくりと罪を犯した人たちの立ち直り支援を目的として活動して来ました。県内33の地区会が地域の中で身近な青少年問題、子育ての事などを話し合う「ミニ集会」や子育て中の親を支える「子育て支援」は、これまで長く続けて来た活動です。

平成21年度より、地域の中で気付いたことを放っておかないで何とか皆で解決しようとする「ほっとけない運動」を展開しています。また創立以来続けてきていることは、更生保護施設への食事作りや交流会の実施、刑務所や少年院の各行事への参加です。薬物自助グループダルクや女性シェルター、児童自立支援ホーム等への支援も「ほっとけない運動」として取り組んでいる地区会が出てきています。



◆多くの地区会・会員の活動を組織的に展開するために、大切にされていることは何ですか。

「ほっとけない運動」は、地区会ごとにテーマをもって展開していますが、各地区で何が問題であるかに気づくことが大切です。少年院やNPO等で、第一線で活動されている方を招いた研修会に各地区から会員が参加し、研修に研修を重ねています。研修を受けるだけでなく、調査を行ったり、関係者に直接話しを聞いたり、ほかの地区の事例発表などから学んだりしながら、各地区会が主体的に取り組んでいます。事例発表もロールプレイや人形劇や紙芝居など工夫を凝らしながら理解につなげ、情報交換を行っています。「やりなさい」ではなく、それぞれの地区にまかせ、それぞれが「ほっとけない」と感じた課題に自主的に取り組むことが大切であると感じています。「万引き」「不適応中学生」「子どもの携帯電話」など、各地区で取り上げる課題は様々です。また、各地区で「ほっとけない運動」を進めやすいように手引書も作成しました。

◆活動を通して日頃感じていることや、活動に当たって心がけていることをお聞かせください。

「ほっとけない運動」に取り組むようになってから、地区の活動が活性化し、地域の問題により関心を持つようになりました。他団体との関係も広がり、町ぐるみの運動になりつつあると感じています。

心がけていることは、無理をしても続かないので「自分たちにできることをやろう」ということです。気づいたら「ほっとかない」姿勢、そして虐待などの複雑な問題は専門機関と連携をして取り組むことも重要視しています。連盟としてはそれぞれの地区の自主性を大切にして、適切なアドバイスをしながら一緒に考えています。今後も目標を持った活動をしていくとともに、ネット社会と言われる現代においてはより一層、顔と顔、目と目があった活動を大切にしていきたいと思っています。

◆平成26年度子どもと家族・若者応援団表彰(内閣府特命担当大臣表彰)受賞へ一言お願いします。

地道な活動が認められたことは、会員にとって大きな励みです。表彰を受けたことで、周囲から関心を寄せていただいたことをありがたく感じています。また、保護局からも「ほっとけない運動」を全国に広めて行きたいということで評価をいただき、活動を広げる事となりました。3月4日には「ほっとけない運動」今・そしてこれからのパネルホーラムを県民文化センター小ホールで行い、続けることで会員の意志の統一を計りました。



◆今後の活動への想い、メッセージをお願いします。

今後は、テーマを持った「ほっとけない運動」を続けていくことと、日常の中であいさつや声かけをしながら、地域の問題を感じ、知らないふりをしないで自分たちのできることをすること。声をかけ、聞いてあげる大人がいれば、犯罪を防ぐ事ができると考えています。高齢者や子ども、母親など、地域で孤立した人を作らないような地域づくりを心掛けることが運動の大切さだと思います。また、更生保護女性連盟だけで解決できないことは早いうちに専門機関につなげるよう、関係団体との連携、ネットワーク作りが可能になれば、地域が変わり、犯罪が減るでしょう。

今後も、漫然と活動するのではなく、何が「ほっとけない」かという視点をしっかり持ちながら活動を続けていきたいと思っています。

【茨城県更生保護女性連盟】に関するお問い合わせは

〒310-0061 水戸市北見町1-1 水戸保護観察所内 TEL 029-221-3970

第5回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成26年12月16日(火) 13:30~15:30

夢のかたち ~市民活動に生きがいを求めて~



セミナー中の様子



【講師】NPO 法人 ひたちNPOセンター・with you
事務局長 田尻 英美子 さん

ひたちNPOセンターより事務局長である田尻英美子さんをお迎えし、地域に根差した市民活動の取り組みや事例について、わかりやすく教えて頂きました。

「人の生き方をサポートしたい」という思いから、NPO活動を始められ、市民農園の運営、かみね公園の花壇づくり、カフェ、震災支援事業などニーズが多様化する暮らしの問題点にスポットを当て、市民が主体となる地域活動をサポートし、成功へ導かれ、今後は学習支援事業や子育て支援などの取り組みも計画されているとのこと。

「出会いはチャンス。自らのアンテナを張り、チャンスや情報を受信することが大切」と力強く話され、参加者の皆さんも熱心に話を聞かれており、市民活動に対する関心の高さも伺える大変貴重なセミナーとなりました。

参加者からの感想

- NPO活動を始める為の理解ができ、良いきっかけとなった。
- 長い視野で責任を持ってボランティア活動をしていこうという心構えができ、本当に来て良かった。

第6回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成27年2月10日(火) 13:30~15:30

あなたに寄り添う やさしい法律のお話。 side story: 母になり、つかんだ弁護士の夢



セミナーの様子



【講師】こむろ法律事務所

弁護士 小室 光子 さん

こむろ法律事務所より弁護士の小室光子さんをお招きし、ご自身の経験や生き方を織り交ぜながら、法律について、分かりやすく解説していただきました。

離婚を機に、子育てをしながら、様々な壁を乗り越えて弁護士バッチを手に入れました。「離婚をする際、弁護士や法律に対して、敷居が高いと感じていた。だったら自分が敷居の低い弁護士になろう。」と決意され、これが今での活動の原点となっているそうです。

離婚以外にも、相続、ハラスメント、慰謝料など様々な分野について、詳しく丁寧に教えていただきました。最後に「気軽に相談してほしい」というお言葉をいただき、参加者の皆さんに安堵の表情が見られ、小室先生のお人柄の伝わる素晴らしいセミナーとなりました。

参加者からの感想

- 法律という遠い世界のように感じるが、先生の話は身近で分かりやすく、女性の目線で話してくださったので良かった。
- 「敷居の低い弁護士」を貫いてほしい。全く分野の異なる弁護士を目指したモチベーションが素晴らしいと思った。

茨城県からのお知らせ

～ウィメンズパワーアップ会議から

女性の活躍を推進するための「提言書」をいただきました～

産業・経済など様々な分野における女性の活躍を推進するため、官民企業の管理者・女性起業家・報道関係者等15名の方々を「ウィメンズパワーアップ会議」委員に任命し、本会議4回、作業部会3回を開催しました。活発に意見交換を重ね、茨城らしさを考慮した具体的な提言・施策の検討をしていただきました。

去る2月13日(金)に村田会長はじめ委員の代表から、知事へ提言書「～チェンジ！チャレンジ！いばらきウーマン！！～」が提出されたところです。

県はこの提言内容に基づき、男女ともに輝き続ける茨城づくりのため、平成27年度から具体的な施策の検討・実施に向けて取り組んで参ります。

【提言書提出】

- ・村田昌子（公社）茨城県看護協会長
（ウィメンズパワーアップ会議会長）
- ・植木 誠 （株）筑波銀行副頭取
（ウィメンズパワーアップ会議副会長）
- ・中村香代 （株）和香紗 代表取締役
（株）わかさキャリアコンシェルジュ代表取締役
（ウィメンズパワーアップ会議作業部会長）



【提言書の柱】

- I 働く意思のある全ての女性がその能力を發揮できる環境整備
～女性の働きたいを応援！誰もが参加できる社会づくり～
- II 女性が意欲的に働き続けることの出来る（達成感の得られる）キャリア形成
～いばらき流 キャリアデザインでより生き生きと～
- III 女性の視点からの新たな価値の創造（イノベーション）
～夢をカタチに 輝く女性の第一歩～

*「提言書」は女性青少年課 HP に掲載

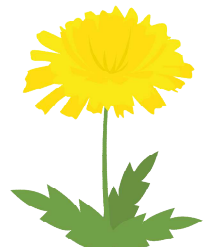
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/danjo/womenskaigi-teigen.html> *

『男女共同参画推進員研修会』を開催しました。

2月19日に県立健康プラザにおいて、茨城県男女共同参画推進員研修会を開催し、推進員28名、市町村職員22名の方が参加しました。

常磐大学 砂金祐年准教授の講義では、「地域で取り組む男女共同参画」をテーマに、課題と方策について各グループごとに話し合い、発表を行いました。

また、茨城県女性プラザの職員から、女性プラザにおいて作成した「男女共同参画に関わる調査研究・学習プログラム」の紹介があり、男女共同参画に係る出前講座などにおける、プログラムの活用依頼についてお話がありました。



著者等名	図書 及び DVD名	出版社
水島 広子	女子の人間関係 整理整頓	サンクチュアリ出版
村岡 花子	曲がり角のその先に 村岡花子エッセイ集	河井書房新社
樋口 恵子	おひとりシニアのよろず人生相談	主婦の友社
非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ 長沖 暁子 編著	AIDで生まれるということ-精子提供で生まれた子どもたちの声-	萬書房
仁藤 夢乃	難民高校生-絶望社会生き抜く「私たち」のリアル-	英治出版
中野 裕哲	一日も早く起業したい人が「やっておくべきこと・知っておくべきこと」待ったなし!もう、やるしかない!	明日香出版社
ブレインワークス 著 東北地域環境研究室 著	東北発! 女性起業家28のストーリー	カナリア書房
山川 咲	幸せをつくるシゴト 完全オーダーメイドのウエディングビジネスを成功させた私の方法	講談社
現役ママの編集チーム まちとこ 編	小さなお店のつくり方~育児しながら起業編~ 子どもがいても起業したお母さんたちの成功の秘密	辰巳出版
田川 ミユ	20代でお店をはじめました。女性オーナー15人ができるまで	雷鳥社
上野 千鶴子 著 古市 憲寿 著	上野先生、勝手に死なれちゃ困ります 僕らの介護不安に答えてください	光文社
古市 憲寿	5年後働く自分の姿が見えますか?	角川書店
柚木 麻子	ランチのアッコちゃん	双葉社
大理奈穂子、栗田隆子、大野左紀子、水月昭道	高学歴女子の貧困 女子は学歴で「幸せ」になれるか?	光文社新書
坂本 フジエ	大丈夫やで~ばあちゃん助産師(せんせい)のお産と育児のはなし~	産業編集センター
石川 大我	ボクの彼氏はどこにいる?	講談社文庫
NHK「ハートをつなごう」制作班	NHKハートをつなごう LGBTBOOK	太田出版
野原 広子	ママ、今日からパートに出ます! 15年ぶりの再就職コミックエッセイ	KADOKAWA
ウインズ望月恭子と就活中の主婦たち	主婦が、仕事を、探すということ。高学歴40代妻たち、涙と笑いの再就職戦線	東洋経済新報社
吉川 紀子、竹内 康代	54歳のハローワーク+アラウンド定年の就活ハンドブック 負けない、折れない50代女子の仕事探し術	集英社
本田 一成	主婦パート最大の非正規雇用	集英社新書
佐藤 博樹、武石 恵美子	男性の育児休業~社員のニーズ、会社のメリット~	中公新書
新川 てるえ	いちばん幸せになるために 別れる? やりなおす?	青志社
まっち~	夫からのモラルハラスメント 愛する人からの精神的イジメ 苦しいのはあなた一人じゃない	河出書房新社
小栗 ショウコ・田中聖華	だれも教えてくれなかった 本当は楽しい仕事&子育て両立ガイド	ディスカバー・トゥエンティワン
溝上 憲文	マタニティ ハラスメント	宝島社
金子 由紀子	わたし時間のつくり方 夢もゆとりもあきらめない	アスペクト
マララ・ユスフザイ	わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女	学研パブリッシング
島田 裕巳	ブア充 -高収入はいらない	早川書房
(DVD)ビデオ工房AKAME	Our Planet collection 第5巻 女性・ジェンダー	ビデオ工房AKAME
(DVD)ビデオ工房AKAME	自分をとりもどす ~DVサバイバーからのメッセージ~	ビデオ工房AKAME
(DVD)ビデオ工房AKAME	おひとりさまを生きるPart2 最後の選択	ビデオ工房AKAME

発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室
〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41
電話 029(233)3982
FAX 029(233)1330
URL

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/danjo/challenge/index.html>

女性プラザ男女共同参画支援室 **検索**

ホームページはこちらから検索!



- 水戸駅から日立方面に向かって徒歩10分
- 車でお越しの方は三の丸庁舎(旧県庁舎)の駐車場をご利用ください。

最新情報を配信しております。

